

【意見集約】魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けたいご意見を聴く会<湖北>

日 時 平成 22 年(2010 年)11 月 21 日(日) 10:00~11:40

場 所 文化産業交流会館(参加者 70 名:発言 12 名)

(魅力と活力ある学校づくり関連)

魅力と活力ある学校づくりには愛情が必要。お金の問題ではない。子どもを通じて私たちがどのようにすばらしい社会を築いていくことができるかが問題。

(地理的、地域的課題関連)

地域経済とのつながりや交通の利便性を含めて再編を検討していただきたい。

(計画の周知と意見反映関連)

高校再編は、今後、高校生となっていく今の小・中学生にとって影響が大きく、すべての保護者が知っておくべき問題である。

今回、PTA 会長を通じて各学校 2 名程度で開催を案内されたが、学校長を通じて案内していただければ、一部の会にならなかった。この会をもって保護者の意見とし、説明責任を果たしたとされたくない。

今後も、このような機会を設けていただきたい。

(特別支援学校関連)

再編に伴い高校が減るのであれば、その空き施設を利用して特別支援学校を増やしてほしい。他府県においても、廃校をそのまま特別支援学校にした例がある。

高校と特別支援学校が同じ屋根の下で共存することにより、地域で障害のある生徒を育てていく必要がある。地域の問題として考えていただきたい。

滋賀県では、全国で初めて普通科高校に高等養護学校が併設され、先進的な取組として注目を浴びたがもう少し広めていただきたい。湖北地域すべての高校に特別支援学校を併設すれば、全国的にも先進的な取組となるのではないか。小・中学校の空き教室を特別支援学校・学級の分校・分室として有効活用すれば、県予算も最小限に抑えた上で子どもたちに豊かな教育環境を提供できるのではないか。

再編にあたっては、特別支援コーディネーターの充実など特別支援への配慮もお願いしたい。

(具体的な再編内容関連)

保護者の多くはどの学校がなくなるのかという不安を抱えている。本日の説明に具体的な内容は示されていない。具体的な内容に対するものであれば、この高校にはこういう学科をつくれればいいといった具体的な議論ができるが、前の見えない説明だけをされたので議論ができない。いつ具体的な再編内容の案が出るのか。今の中学生の何年生くらいから統廃合が進んでいくのか、なるべく早い段階でお示しいただきたい。

(説明資料関連)

なぜ学級数が少なくなるといけないのかなど具体的に分かる資料や母校がなくなるといふ反発に対抗するビジョンが分かる資料をつくった上で、建設的な意見交換ができるように努める必要があるのではないか。

(その他)

再編について、現在、いろいろな憶測が飛び交い、各高校の署名活動も行われているようだ。このままでは各高校の潰し合いが始まるのではないかと懸念している。

定時制高校については適正な配置をお願いしたい。

同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。説明資料に対する質問等については、省略しています。